

横山美智子 みさ子 小説家、児童文學者。明治二十八年七月二十七日  
 廣島縣生れ、昭和二十一年九月二十日歿（六五—一九六）。本名黒田カ  
 ヌヨ。筆名横山美智子、碧川耀子、黒田道夫等。尾道高等女學校卒。  
 雑誌『金の船』、『少女界』編輯。昭和九年『大阪朝日新聞』懸賞小  
 説の「緑の地平線」が一等入選。

著書『賢くく王様の話』（昭和二年五月十九日昭陽堂書店）『聖書物語  
 文庫』（、『日本模範童話選集』（合著・長沼依山編、昭和二年十

月二十五日同文館）、『青春讀本』（昭和十一年六月十五日建文社  
 『令女讀本全集』（、『生活の目標』（昭和十六年四月二十五日萬里

閣）、『青春時代』（昭和十六年四月二十日富士書店）、『妻の時代』  
 （昭和十六年四月二十日富士書店。再刊・二十二年一月二十五日新女

性社）、『少國民の鏡後日記』（合著・日本放送協會編、昭和十六年  
 十一月二十五日日本放送出版協會）、『美しい國』（昭和十七年二月

二十日富士書店）、小説『青い笛』（昭和十七年七月十日旺文社）、  
 『純愛』（昭和十七年八月十五日武蔵書房）、『輝く海軍』（合著・

少年文藝作家畫家協會 上澤謙一  
 神崎清編  
 井元水明 大本營海軍報道部指導、昭和十  
 七年九月二十日博文館）、『若者の生命』（昭和十七年十二月二十

日新生社書店。再刊・二十二年四月十日成書房）、『若者の心』（昭  
 和十八年四月二十日大阪・葛城書店）、『雜華嚴淨』（合著・上司海



雲編、昭和十八年十月十五日奈良・雜華乃蘭發行  
 所）、『お母様の心』（昭和十九年四月二十日富士  
 書店）、『若者の心のわかれ』（昭和十九年五月二十

日太平書房）、『生命の花』（昭和二十一年六月二十日文苑社）、『神

『びゆく子供』(昭和二十一年十一月二十日、再刊・二十二年二月二十日明治圖書出版社)、『静かなる春流』(昭和二十二年六月十五日新人社)、『緑の地平線・前篇』(昭和二十二年六月十五日新人社)、『娘の周邊』(昭和二十二年八月二十八日東京書房)、『生命の飛躍』(昭和二十二年十一月十五日東京書房)、『ワリテの花咲く丘』(昭和二十四年一月一日ポプラ社)、『ここち誇りか』(昭和二十四年八月一日二和出版社)、『<sup>クレス</sup>級の光り』(昭和二十六年八月十五日ポプラ社)、『花は考えろ』(昭和二十七年二月二十五日同光社磯部書房)、『花と風の記』(昭和二十七年七月二十日東洋書館)、『こころ陀る』(昭和二十七年二月明治圖書出版株式会社)等。